

憧れの高校生とダンス

「楽しかったぁ!!」「最高!!」

「ゆめさくら博」の大舞台上、素晴らしいダンスを見せてくれた「SAKURA KIDS DANCERS」の子どもたちは、口々に素晴らしいながら、舞台から笑顔で駆け下りてきました。その姿を、ダンスを教えたさくら清修高の高校生たちが、満足そうに見つめています。



8回の練習を経て、大舞台に立った子どもたち。結構長くて、複雑なダンスでしたが、一生懸命に踊りました。

なんとと言っても「ダンスが好き!!」そしてダンスが上手でカッコ良く、とっても優しい高校生たちが「大好き!!」な子どもたちです。練習の休憩時には、みんなでぶら下がって甘えていました。そして高校生たちが踊っている時には、憧れで目をきらきらさせながら、じっと見つめていました。

高校生たちも、ダンス部の練習の合間をぬって、子どもたちに教えてくれました。



普段小学生と触れ合う機会がすくないであろう高校生ですが、子どもたちに頼りにされ、教え導き、ひとつの事を成し遂げた事は、彼女たちにとっても大きな自信となったことでしょう。

練習のときも、本番前も、いつでも仲良くじゃれあっていた姿は、とてもほほえましい光景でした。そのチームワークの良さで、もちろん舞台は「大成功」でした。
わわわ隊 加藤朋子

ご当地クイズ 塩谷地区編

親子で考えてみよう!!

①から⑤に塩谷地区の名物、観光地などが書いてあります。それぞれの地区の組み合わせを考え、さくら市喜連川に当てはまる5文字を並び替えてひとつの言葉を完成してください。(ヒント:子どもたちが大好きな日)

答えがわかった人は、12月15日までにハガキで答えとこの広報紙の感想を書いて市青少年センターあてにお寄せください。答えをくださった方から抽選で5名様に「喜連川の昔ばなし」をプレゼントいたします。(パズルの正解は12月中旬すぎに青少年センターHP[市HPトップからリンク]、喜連川・氏家公民館の掲示板で発表します。)

- | | |
|----------|----------------------------------------------|
| ① 温 泉 | (サ)元気あつ村 (シ)城の湯温泉 (ス)もとゆ温泉 (セ)松島温泉 (ソ)やまゆりの湯 |
| ② 名 物 | (カ)りんご (キ)にら (ク)温泉ナス (ケ)名水 (コ)きんとん饅頭 |
| ③ 観 光 地 | (マ)お丸山公園 (ミ)佐貫観音 (ム)ゆうゆうパーク (メ)御料牧場 (モ)長峰公園 |
| ④ 関連人物など | (ラ)松尾芭蕉 (リ)野口雨情 (ル)山縣有朋 (レ)宇津救命丸 (ロ)荒井寛方 |
| ⑤ 城 跡 | (サ)勝山城 (シ)桑久保城 (ス)蔵が崎城 (セ)大宮城 (ソ)川崎城 |



	①温 泉	②名 物	③観 光 地	④関連人物など	⑤城 跡
さくら市氏家					
さくら市喜連川					
矢板市					
塩谷町					
高根沢町					

第5号の当選者発表

成田 稜様(喜連川)
大澤重子様(氏 家)
渡部 明様(氏 家)
石山菜々美様(鹿子畑)
片山 肇様(櫻 野)

あとがき

日が短くなり寒くなりました。

私たち「わわわ隊」の活動も1年が過ぎて各班の活動も軌道にのってきました。特に全員で取り組んでいる巡回活動は、危険箇所の把握や犯罪の未然防止に効果が表れております。

また、10月からはネット犯罪等から子どもたちを守るため、IT班設立に向けて研修会をスタートしました。活動について広報紙で連載特集します。ネット全般(携帯電話・パソコン)は非常に便利な道具ですが、凶器にも変わります。正しい使用方法や家族内でのルールづくりが大切です。

皆さんからのご意見をお待ちしております。

これからも「子どもたちに対して和やかに輪になり話しかけるリーダー集団」として、全力で活動していきます。みんなでさくら市の子どもたちを育てましょう。

広報啓発班 班長 福田 克之



お丸山公園スタンプラリーのコース設定

夢咲楽

～和輪話通信～

目次	お丸山公園スタンプラリー&ものづくり教室開催!!.....1	座談会.....3
	巡回活動を始めました.....2	憧れの高校生とダンス.....4
		ご当地クイズ

お丸山公園スタンプラリー&ものづくり教室開催!



十月二十八日の「ゆめさくら博」において、私たちさくら市青少年センター少年指導員会「わわわ隊」が「お丸山公園スタンプラリー&ものづくり教室」を実施しました。当日の朝は雨が降り実施できるか心配しましたが、準備が進むにつれ雨が止み、参加する子どもたちが集まりました。スタンプラリーは、お丸山に関する内容で、子どもたちは途中のチェックポイントを一つひとつ素早く解答し、園内をかけていきました。自然を満喫し、普段は手にしない銀杏に興味を示した子どもたちはとても印象的でした。目的地に到着後は、わわわ隊の指導で、ドリームキャッチャー(夢をつかむお守り)作りにチャレンジしました。子どもたちに負けずに製作するお父さんやお母さんの姿もありました。紅葉の季節「親子のふれあい」仲間とのふれあい「自然とのふれあい」ができ、ぎつと素晴らしい思い出になったことでしょう。

次のゆめさくら～わわわつうしんは3月上旬に発行予定です

巡回活動を始めました



わわわ隊(さくら市少年指導員)は、青少年が置かれている環境の確認と健全育成を主な目的として、今年5月からさくら市内の巡回活動を始めました。また、「お祭り」の時にも実施いたしました。11月からは、3グループ体制となり、今までよりきめ細かい活動を行いたいと考えています。

ピンクのブルゾンを着た「わわわ隊」を見かけましたら、お気軽に声をかけてください。

わわわ隊 森山 京逸

今までの巡回活動

	実施日時	実施区域
1	5月28日(水)	喜連川公民館周辺
2	6月16日(月)	氏家公民館周辺
3	7月4日(金)	イオンさくら店 駐車場
4	19日(土)	氏家商工まつり会場とその周辺
5	26日(土)	きつれ川天王祭会場とその周辺
6	8月6日(水)	氏家駅、市営プール
7	9月10日(水)	喜連川公民館周辺
8	10月10日(金)	氏家駅西口周辺



感想

10月10日(金)午後7時、ピンク色のブルゾンを着た「夢咲楽わわわ隊」13名の出発です。さくら市内の繁華街や路地裏、住宅地、公園、ゲームセンターなどを巡回し、青少年の安全を見守る活動の一つです。今回は、氏家駅前～駅西口～国道4号線～商店街裏道を一周する、約1時間のコースを歩きました。

途中から仕事帰りのメンバーも駆けつけてくれ、嬉しい思いがしました。

今回の巡回で気付いた事をいくつかあげてみました。

- 駅東西通路・・・階段を上ると、小学生が共同制作した大きな壁画があり、殺風景な通路が明るく感じました。もっと沢山の作品が飾られるといいなと思いました。

- 駅西口・・・迎いの車が数台待機していま

した。周辺は昼間の様子と違い、ライトアップされた建物がちょっと素敵な雰囲気でした。

- 地下歩道・・・狭苦しくて人影もなく、一人では歩けませんでした。

- その他・・・薄暗い市道があったり、閉店後の建物周辺も暗く要注意です。

このように、昼間とはちょっと違う雰囲気町の並みを歩く事で新たな発見もありました。また、みんなで会話しながらの巡回も楽しかったです。

皆さん、私たちと一緒に「素敵な夜の散歩」に出かけてみませんか?! 地域の防犯と健康に大いに役立つ上に、たくさんの仲間と出会えます。次回の巡回活動にぜひご参加ください。お待ちしております。

わわわ隊 舟本 幸美

座談会 on Cell Phone



もはや子どもにとって必需品となりつつある携帯電話。

わが子が携帯電話と上手につきあっていくためには、大人がまず現状を正しく知る必要があります。「ケータイのネット世界」を知って、携帯電話のメリット・デメリットをいっしょに考えてみようというわわわ隊のメンバーで座談会を企画しました。

司会 ブログや掲示板を利用したことはありますか?

舟本 ブログを作ったらと誘われましたが、いたずらな書き込みをされることがあると聞いたので怖いのでやめました。やはり、顔が見えないからと言って悪意をもった書き込みをされるのはいやですね。

福田 書き込みがエスカレートすると取捨がつかなくなってブログを閉鎖するようになってしまうこともありますよ。

加藤 掲示板は情報交換の場として「良いかな」とは思いますが、なかで変な話になってしまっていることもありますね。

司会 掲示板やブログの開設は簡単なので誰でもすぐできちゃう。反面、いたずらもしやすいです。

舟本 なんか、こわいですね。子どもには使わせたくないです。

司会 学校裏サイトの存在は?

舟本 地元の学校にもあるらしいと聞いたことがあります。どうやってみるのですか?

加藤 口コミで広がるため大人には、みつけにくいみたいですよ。

福田 匿名だから悪ふざけで気軽に書き込みをしまい、そこから攻撃が始まる。書かれた人はいやな思いをしますよね。自分がそうになったらと思うと「ソッと」します。

舟本 でも、匿名・匿名といいますが調べればわかることですよね?

司会 わかりますよ。

司会 インターネットは「自由」・「自主規制」が基本です。

「モラル」や「責任能力」が重視されます。使う人のモラルが重要です。

舟本 モラルや責任能力の未成熟な子どもに使わせて大丈夫でしょうか? 大人も子どもも同じ立場でことですよ。

福田 子ども側にはある程度規制が必要だと思いますね。例えばフィルタリングをかけるとか。

加藤 インターネットでいろいろな情報が得られることは有益ですが、情報の信頼性となると別問題ですね。

舟本 うその情報もあるということですか?

福田 一概に言えませんが、間違った情報もありますし、故意にジョークだったということもあります。

舟本 親はどうしても料金に関心がいきますが、それより「どんな使い方をしているのか」に関心を持たないとだめですね。

加藤 うまく使うと楽しいし、便利です。子どもには有意義に使って欲しいですね。

*ケータイ: 携帯端末・情報ツールの意

*ブログ: 公開する日記

*フィルタリング: 情報を選別する仕組み。今回の例は「子どもにとって不適切とみなすサイト」の閲覧を制限する機能を指します。

ここまでで、想像以上に広がっている「ネットの世界」に参加者は驚き、自分の知らない所で「だれが何をしているのか」がインターネットの世界では、理解し難くなっている現状を知りました。

反面、便利な機能を利用して楽しんでいることもわかりました。大人の心配するような、「ケータイ」に振り回されている子どもは少ないかもしれません。

まず、大人が「インターネットの世界」をよく知り、「子どもに携帯電話をどう使わせるか」を考えることが、ネットトラブルから子どもを守ることにつながることを、ここまでの結論としました。

まだまだつづく座談会・次回をおたのしみに。

今回の座談会のメンバーを紹介します。



司会の田代です。(櫻野在住、生涯教育活動に目覚め県北ITボランティアを結成。現在、教育機関等のIT講師で活躍しています。)



舟本です。(櫻野在住)



福田です。(蒲須坂在住)



加藤です。(氏家在住)